

「九州将来ビジョン2030」実現に向けて
2023年度上期事業進捗報告と
今後の進め方について

九経連「理事・審議員合同会議」 (2023.9.21)

1. 2023年度事業の大枠

～ 九州将来ビジョン、第1期中期計画（2021～2023）、2023年度事業方針 ～

九州将来ビジョン2030

2021年、創立60周年の節目に『九州将来ビジョン2030』を策定。2030年の九州の「ありたい姿」の実現に向けて、原則3年ごとに「中期計画」を策定し、3ステップで取り組んでいます。

第1期中期計画(3カ年)

2021年度からの第1期中期計画（2021～2023年度）では、「3つの戦略」を活動方針の柱としています。

- 【戦略1】 地域共創withコロナ
- 【戦略2】 ありたい姿に向けたチャレンジ
- 【戦略3】 みらいへの投資（基盤整備）

第1期中期計画 2021-2023



- ・ 移動活性化への
会員向け行動指針
- ・ 九州地域戦略会議での
官民共同宣言
- ・ 幸せコミュニティ指標の公表
- ・ 九州・沖縄・山口ESG投融資方針の策定
- ・ 九州MaaSグランドデザインの策定
- ・ 九州スマートリージョン構想の推進
(九州広域データ連携プラットフォーム、防災プロジェクト)

ありたい姿

- I 新たな時代の成長エンジン
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で
地域経済社会の先進モデルを確立～
- II 心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～
- III 自立型広域連携アイランド
～九州のポテンシャルを活かし、
強固な連携で成長と心の豊かさを支える～



2023年度事業方針

2023年度は、戦略遂行への活動を一層強化し、中期計画最終年度の総仕上げとしてさらなる成果に結びつけます。イノベーションの力で新たな成長を生み出す産業創造の取り組みをさらに深掘りするとともに、特に、**地域に根差した魅力ある九経連活動**を強化し、[農業][観光][雇用][社会基盤]などの掛け合わせによって、個々の領域の課題解決と地域の発展を同時に実現していくための実践的な活動を展開していきます。

産業創造

産業競争力強化

リーディング産業

半導体、自動車
航空宇宙

イノベーションDX

スタートアップ
DX

カーボンニュートラル

脱炭素経営
地域脱炭素

九州GRP
(2018)
360万円

九州GRP
(2030)
500万円

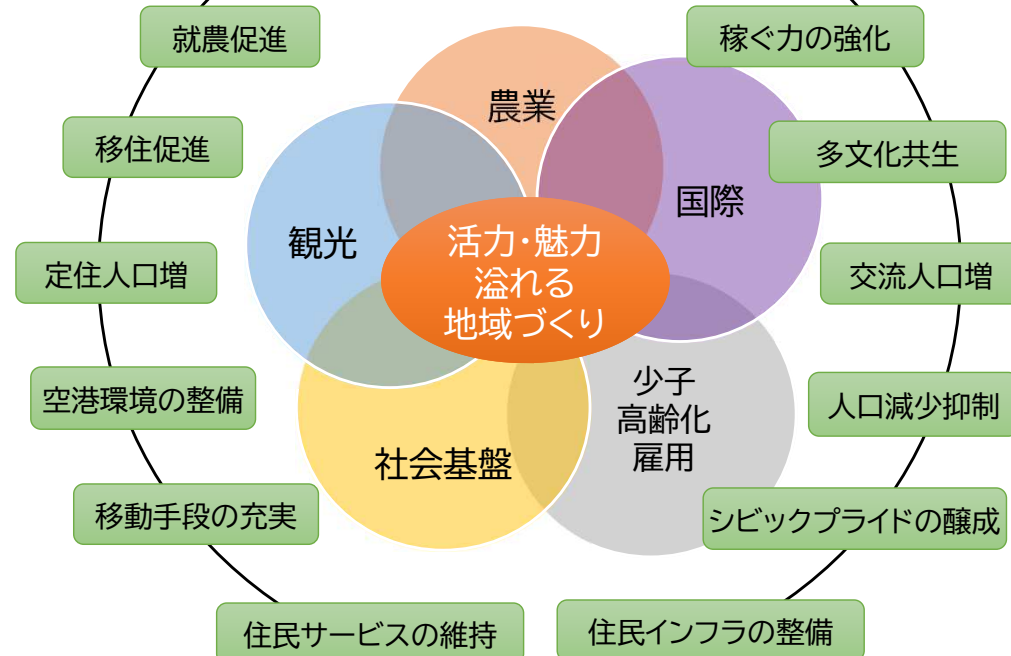
(補足)

- ・2045には九州が全国水準(767万円)にキャッチアップ
- ・全国平均は、2018：435万円
2030：571万円

行動し実践する九経連

地域共創

雇用の安定 ← 生産性向上 → 収入の安定



街づくりの為に先鋭的・突出・特化したアイコン事業群

ツール・ド・九州 九州MaaS データ基盤連携

2. 委員会の再編 2023.4.1

◆再編の目的

「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて、
地域の社会課題解決と魅力向上による『地方創生』に重点を置き、地域に根差した活動を強化する。

◆変更内容

【事業推進機関】

委員会

- 資源エネルギー・環境委員会
- 産業振興・デジタル推進委員会
- 観光委員会
- 農林水産委員会
- ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会
- 行財政委員会
- 交通委員会
- 関門連携委員会
- 国際委員会
- 地域委員会

- 山口地域
- 北九州地域
- 佐賀地域
- 長崎地域
- 熊本地域
- 大分地域
- 宮崎地域
- 鹿児島地域

【統合】地域共創委員会

- ◆地域づくり部会
- ◆規制改革推進部会 — 専門部会

〈観光〉 地域づくり/交流人口 〈ダイバーシティ〉 多様な人材/地方分散
〈農業〉 稼ぐ力/関係人口 〈行財政〉 広域行政/地方分権

魅力・活力溢れる地域の創造に向けて、

- ①さまざまな主体を繋ぎ、地域を舞台に実践的事業を展開
- ②全体戦略を構築し、九州一体での取り組みを先導

【改編】国際委員会

各委員会にて国際戦略を構築し、
個々の事業においてグローバルに活動を展開。

【新設】筑後地域委員会

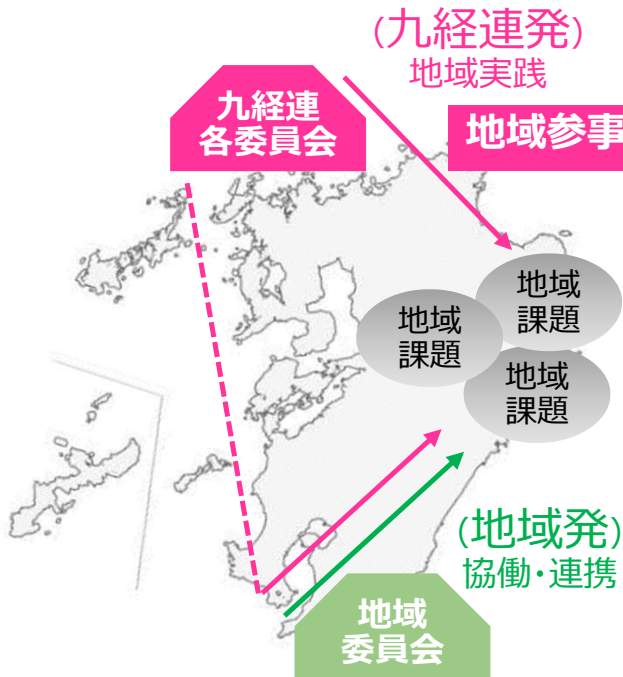
筑後圏のポテンシャルを活かし、県境を越えた広域連携
(福岡南部・佐賀東部) による経済活性化モデル創出を目指す。

3. 地域軸での実践強化（地域参事）

〈地域委員会〉

2010年 8つの地域で発足

- ・委員長： 各地副会長
(北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、山口)
*2023.4月「筑後地域委員会」を新設
- ・事務局： 九州電力、JR九州の各支社 等
- ・活動： ①年1回、会長出席の意見交換会
②九経連全体のプロジェクトとの協働・連携



各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図り、各地域経済の振興を通じて九州の一体的かつ均衡ある発展に寄与する。

〈地域参事の設置〉

2023.4月 スタート

「地域参事」を通じて、地域の実情を理解したうえで、九経連の各委員会(交通、産業、環境、地域共創など)において、これまで以上に地域課題の解決に力点を置いた活動を展開していく。

活動： 合算して 月1日程度の研修 に従事

- ①九経連事務局との情報共有や意見・提案
(現地情報、課題の深堀、横展開アレンジ、ゼロベース企画)
- ②九経連全体の戦略・活動内容の地域へのフィードバック

| | | |
|-----|-----------|-------------|
| 北九州 | 西日本鉄道 | 取締役営業本部長 |
| 筑後 | 筑邦銀行 | 地域連携室長 |
| 佐賀 | 佐賀銀行 | 地域共創グループ調査役 |
| 長崎 | 十八親和銀行 | 営業推進部副部長 |
| 熊本 | 三井住友信託銀行 | 熊本支店長 |
| 大分 | 大分交通 | 取締役管理部長 |
| 宮崎 | みやぎん経済研究所 | 主任研究員 |
| 鹿児島 | 南国殖産 | 都市開発課長 |
| 沖縄 | 沖縄電力 | 企画部マネージャー |
| | みらいおきなわ | 地域振興部長 |
| 山口 | 山口銀行 | 営業統括部長 |

4. 2023年度 主要事業と進捗状況一覧

① 産業軸

- ▶ 産業振興・デジタル推進委員会
- ▶ 資源エネルギー・環境委員会

高い付加価値を生み出す産業の創出

(新たな時代の成長エンジン)

2030年の1人当たりGRP『500万円』を目指す

2023年度 事業計画

上期進捗

下期計画

リーディング
産業

半導体産業基盤の強化
に向けたオール九州で
の戦略展開

- オール九州の観点からの課題解決・規模拡大の戦略展開策の策定
- 半導体サプライチェーン強靱化に資する取り組み

- 官民連携フォーラムにて岸田総理へ提言(4/6)
- 九経局,SIIQ,各県との振興策調整

- 九州地域戦略会議にて提案(10/25・26、九州一体の取組)
- SIIQとの連携、台湾企業と九州企業との交流支援

航空宇宙産業の市場創出・拡大

- 九州航空宇宙開発推進協議会・第3次アクションプランの遂行

- 九航協・第3次アクションプランの始動

- 九州宇宙開発ビジネス交流会(11/15)
- 名古屋イアロマト出展(9/26-28)

切れ目のない
スタートアップ支援体制の構築

- ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化
- 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化

- 各自治体のスタートアップ支援策取りまとめ
- 九州・大学発ベンチャー振興会議にて13大学より27件のシーズ提出(新規入会4社)

- 継続したベンチャー振興会議新規会員獲得の加入活動
- J-Startup KYUSHU、KVM、PARKS、九州・大学発ベンチャー振興会議等の連携強化(ミドル~レター期支援策強化)

イノベーション
DX

九州が一体となった
DXの実践

- 九州各地のDX実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築
- 地域企業向けDX導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり
- 地域企業の人材確保に資する「ICT人材インターシッパ事業」の広域展開

- 九州DX推進コンソシアム総会(5/23)
- DX導入支援=1社
- JEWELS+とDX施策
- ICT人材インターシッパ企業11社/学生20名

- DXシンポジウム、セミナー相談・情報発信&他団体連携
- インターシッパ成果発表(12月)
- 人材育成/産学連携施策の立案(各県情報サービス産業協会、数理・AI・DXコンソシアム他)

地域企業の
脱炭素経営の推進

- 九州・沖縄・山口ESG投融资方針に基づく具体的プロジェクト推進
- 「CN推進研究会」による脱炭素技術の社会実装への具体策の検討

- 第2回ESG投融资推進会議(9/13)
・ESG投資/Jクレジット、広域連携PJ検討

- 第3回ESG投融资推進会議(2月)
・投資額設定/PJ活動の具体化

官民連携による地域脱炭素の推進

- 環境省九州地方環境事務所との連携「脱炭素先行地域」組成支援

- 第3回脱炭素先行地域選定(2市町)

- 脱炭素先行地域のマッチングイベント(熊本、沖縄)

②地域軸

魅力・活力溢れる地域の創造（幸せコミュニティ指標の向上）

多様な人々が幸せを感じながら活躍できる持続可能な地域づくりを目指す

- ▶ 地域共創委員会
- ▶ 各地域委員会

点から切り拓く

面で捉える

2023事業計画

下線：新規取り組み

特定エリアでの
実践的モデル事業
と、横展開

九州の総意を形成し、
九州一体の取り組み
を先導

上期進捗

下期計画

| | | | | | |
|----------------|------------|--|---|--|--|
| 地域の「稼ぐ力」を高める | 農林水産業活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 貨客混載を活用した販路拡大の仕組み作り | <ul style="list-style-type: none"> ● 九州産品の海外販路拡大 ● スマート農業モデル検討 ● 九州農業参入促進 ● 木材サプライチェーン最適化 | <ul style="list-style-type: none"> ● スマート農業現地デモ実施 ● モデル研究会、製材所調査依頼実施 | <ul style="list-style-type: none"> ● 4ヶ国で九州フェア開催 ● スマート農業モデル提示展開 ● 企業農業参入セミナー（10/2） ● 木材SCネットワーク構築 |
| | 観光SDG | | <ul style="list-style-type: none"> ● 第三期九州観光戦略策定 | <ul style="list-style-type: none"> ● 戦略会議（5/31）にて「観光戦略」承認 | <ul style="list-style-type: none"> ● 戦略会議（10/25・26）へ、「第1次アクションプラン」報告 |
| 人の流れをつくる | ツールド九州 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体と各ステークホルダーの協業サポート | <ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な運営体制構築 | <ul style="list-style-type: none"> ● 沿道ボランティア募集活動 ● 課題探究フィールドスタディ実施 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大会本番の支援、報告会 |
| | 九州長崎IR | <ul style="list-style-type: none"> ● IR基軸の街づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 九州IR推進協議会活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 役員会（書面決議） | <ul style="list-style-type: none"> ● （認定後）報告会イベント等 |
| | 関係人口拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農業体験者の拡大 ● 農村型地域運営組織作り | | <ul style="list-style-type: none"> ● 援農募集の会員への発信 ● 食品ロス削減と認知度向上に向けた提案実施（うきは市） | <ul style="list-style-type: none"> ● 援農実施と地域拡大着手 ● 二次交通不足改善、産学への農活参加依頼（うきは市） |
| 多様な人材が能力を発揮できる | ジェンダー平等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性活躍ネットワークづくり ● 地域間差是正へ課題解決 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 夏季セミナー（8/3・4）で「女性エンパワメント・ジェンダー主流化」議論 ● WE-Net福岡ネットワーク活動支援 ● 意見交換会調整（長崎×沖縄） ● EGGI多角的分析実施 ● 提言の方向性を決定 | <ul style="list-style-type: none"> ● WE-Net福岡ネットワーク活動支援 継続 ● 長崎×沖縄意見交換（調整中） ● 分析結果と企業ヒアリング展開 ● 部会で取り組み等を議論 ⇒ 有識者WGの設置へ |
| | 高度外国人材 | <ul style="list-style-type: none"> ● 人材供給モデルの展開 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高度外国人材受入環境整備 ● 韓国大卒人材の就労マッチング | <ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携フォーラム（4/6）にてインター校への財政支援制度を要望 ● 現状把握アンケートとまとめ（7/14～8/14で実施） ● 研修生向けセミナー（6/20） | <ul style="list-style-type: none"> ● 西経協への要望（調整中） ● 企業ヒアリング/マッチングスキーム検討 ● 就労マッチング実施 |
| 安心して暮らし続けられる | デジタルx防災・医療 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療・健康データ利活用モデル | <ul style="list-style-type: none"> ● 防災・減災システムの広域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ● ヘルステーマネジメント事業可能性検討 | <ul style="list-style-type: none"> ● ヘルステーマネジメント事業可能性検討会設立 |
| | 結婚・出産・子育て | | <ul style="list-style-type: none"> ● 男女の出会いの場創出支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 企業福利厚生へのマッチングアプリの導入・利用拡大を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 知事会「出会い結婚応援PJ」へマッチングアプリ追加を提案 |

③ 未来への投資（基盤整備）

▶ 交通委員会 ▶ 関門連携委員会 ▶ 産業振興・デジタル推進委員会

2023年度 事業計画

上期進捗

下期計画

データ
駆動型
社会

スマートリー
ジョン構想
の推進

- 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「九州広域データ連携プラットフォーム」(略：QDP) 構築
- デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施

- QDP
 - ・ 第1回検討会 (8/22)
- 防災
 - ・ ユースケースアイデア募集 (9月～)
 - ・ 大分-宮崎 県境PoC(8/15～)
 - ・ 九州防災DXタスクフォース 設立 (8/22)

- QDP
 - ・ 第2回検討会 (10/3)
(連携基盤の形態、ユースケース、PoC他)
 - ・ 第3～5回検討会
(基盤構築方針、認証方法・ID 他)
- 防災
 - ・ 左記のPoC検証 (～10月末)
 - ・ 全県合同勉強会 (10・1・3月)
 - ・ 落雷危険予測サービスPoC
(早ければ下期から)

インフラ
ネットワーク

地域公共交通
ネットワークの維持
・観光活性化
に資する
「九州MaaS」
実装

- 九州MaaS運営主体設立準備会 発足と、実装への検討・準備
- データ利活用) 将来的な九州MaaSデータ連携基盤構築に向けたPoC開始
- 自動運転レベル4解禁に伴う社会実装プロジェクトの取組強化

- 九州MaaS
 - ・ グランドデザイン承認 (5/31戦略会議)
 - ・ 準備会の設立・実施 (7/4、8/21、9/5)
 - ・ 国交省へ予算陳情 (7/25)
 - ・ サービスベンダー選定手続 開始 (8/1～)

- 九州MaaSについて
 - ・ 準備会 (10/5)
 - ・ 戦略会議 (10/25・26)
(事業者選定結果の報告、官民負担割合の審議、運営組織・事業計画概略)
 - ・ 運営準備
→ 2024年夏頃までのサービス開始

海外展開
プラットフォーム

広域連携を
活かした
アジアとの
繋がり強化

- 「九州プロモーションセンター inハノイ (KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築・実践
- オール九州の官民による海外ミッション派遣

- K.P.C.を有効活用した経済交流促進イベントの企画、検討
- ベトナム首相等政府要人へのK.P.C.のPR (5/21)
- 昨年度のタイ・ヘルスケアミッションのフォローアップ「ヘルスケアウェビナー」 (8/29)

- ベトナムからのミッション受入 (10/6)
- 昨年度ミッション派遣後のフォローアップ
 - ・ K.P.C.と連携したベトナムウェビナー (1月中旬)
 - ・ 現地関係者の招聘イベント (タイ、ベトナム)